

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 各課程別学生受入方針の明示	→アドミッション・ポリシーの確立 (2012年度入学試験募集に間に合わせる)	B
2. 毎年、収容定員充足率を100%にする	→収容定員充足率	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆	小項目5.0.1	(方針) 方針としては、以下のようなアドミッションポリシーを設定している。 「社会の幸福に貢献しうる知」の創出を目標としながら、現実社会を観察／記述／分析する「ソシオリテラシー」の習得を通じて、社会的ならびに社会心理学的発想力・実践的な社会調査の技法・国際発信力を身に付けて社会の本質を探究し、そこに潜む問題を解決へと導くことのできる人材を養成します。 そのために社会学研究科では、様々な社会現象や国内外の諸問題に興味を持ち、柔軟でバランスのとれた思考力、自主的な行動力、鋭い観察力や分析力を有して、次のいずれかを志す学生を、出身大学での専攻等による制限を設けることなく、社会人や留学生も含め広く求めています。 ・専門的な理論や社会調査の技法を身につけて、マスコミ・出版業界、シンクタンク、民間企業・官公庁、学校等での業務に従事し、これからの社会を支えリードしていく人材。 ・高度な専門的知識を活かして、企業や官公庁で調査・研究や企画立案に携わる研究者、または高度の専門的職業人。 ・高度な研究能力のみならず、幅広い教育能力と実践活動能力をも兼ね備えた大学教員。 (現状説明) 2011年度大学院入試要項に掲載、2010年6月中旬以降に公表する予定。
☆	小項目5.0.2	(現状説明) 「社会学研究科一般入学試験細則」にもとづき、大学院研究科委員会において入学者選考を行っている。また、出題採点にあたっては、大学院研究科委員会構成員が幅広く担当している。
☆	小項目5.0.3	(現状説明) 充足率は、前期課程：2008年度0.96、2009年度0.83、2010年度0.71。後期課程：2008年度0.67、2009年度0.75、2010年度1.00。前期課程の未充足状態についてコースのあり方を含めて検討をしている。
☆	小項目5.0.4	(現状説明) 年度初めの大学院研究科委員会において、指導教員選択の審議、副指導教員選択ならびに全入学者の構成の報告を行い、検証している。
☆	その他	

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

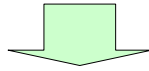
【社会学研究科】		前期/後期課程	単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%	90.9%	58.8%	55.6%	75.0%	83.3%	一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程		33.3%	85.7%	100.0%	100.0%	60.0%	
指標2	志願者総数	前期課程	人	29	28	15	17	19	
		後期課程		11	10	1	7	6	
指標3	志願者倍率	前期課程	%	161.1%	155.6%	125.0%	141.7%	158.3%	志願者÷入学定員
		後期課程		137.5%	125.0%	25.0%	175.0%	150.0%	

注) 指標2、3について入学定員の変更あり(2008年度の社会学専攻人間福祉研究科に改組のため)
2007年度まで前期課程18名、後期課程12名、2008年度より前期課程12名、後期課程4名

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



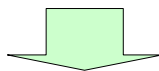
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	前期課程の充足率。
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	収容定員について見直しを含めて、コース編成のあり方を検討する。
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○前期課程の未充足状態の改善対策の具体化が望まれます。

【学内委員】

○現状説明などの記述はおおむね明確です。

○新たなアドミッションポリシーを2011年度大学院入試要項に掲載すべく、現在それを確立するため計画が順調に進展しています。ただ、期日までのアドミッションポリシーの確立が望まれます。

○定員充足数に関しては、目標とされている100%は達成されておらず、今後定員を充足するために、積極的に諸施策を実行することが求められます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保－入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の新入生数のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>

--	--